

アップルロード



No.55

発行：平成15年10月

責任者：対馬 栄輝

事務局：黎明郷リハビリテーション病院
理学療法室

TEL:0172-45-2311(内線68)

FAX:0172-45-2373

平成14年度定期総会議事録

平成15年4月19日、弘前大学医学部保健学科運動療法室において、平成14年度の定期総会が開催されました。以下に討議、決議された内容について報告します。

【第 号議案 平成14年度事業報告】

1. 新入会員は、21期生19名、会員数378名。
2. Newsの発行（Apple Road）：No.55
3. 慶弔電報：1件
4. 平成15年3月、Tea Partyへ藤田俊文氏が出席し、オリエンテーションを実施。
5. 会員名簿発行に向けて準備中

3. Tea Partyへの出席、入会のオリエンテーション

4. 会員名簿発行（所在不明・住所変更等有りの会員について調査した後）

【第 号議案 平成14年度決算報告ならびに会計監査報告】

収入の部	H14 予算案	H14 決算額	備 考
会費 新入会員分	95,000	95,000	卒業生19名分
臨時会費	155,000	166,000	同窓会寄付金 管理費等
伊藤先生印税寄付	0	11,621	
雑収入	0	29	通帳利息
前年度繰越金	158,908	158,908	
計	408,908	431,558	

【第 号議案 平成14年度予算案】

収入の部	H14 決算額	H15 予算案	備 考
会費 新入会員分	95,000	10,000	卒業生2名
臨時会費	166,000	0	同窓会寄付金
伊藤先生印税寄付	11,621	0	14年度で終了
雑収入	29	0	
前年度繰越金	158,908	360,747	
計	431,558	370,747	

支出の部	H14 予算案	H14 決算額	備 考
弘前大学同窓会費	16,000	16,000	本学同窓会入会金
事務費	10,000	772	封筒代
通信費	50,000	51,320	
広報部活動費	6,000	2,769	広報・新聞発送時 弁当代
慶弔費	12,000	0	
予備費	0	0	
計	94,000	70,861	
収支合計		360,697	□ 次年度へ繰越

支出の部	H14 決算額	H15 予算案	備 考
弘前大学同窓会会費	16,000	16,000	20名分
事務費	772	8,000	タグール、封筒代など
通信費	51,320	80,000	広報発送代
広報部活動費	2,769	5,000	発送作業時弁当代
慶弔費	0	10,000	
予備費	0	10,000	
計	70,861	29,000	
収支合計		241,747	□ 次年度へ繰越

第3,4号議案とも承認された。

【第 号議案 News（Apple Road）等の発送について】

News等の発送については、同一施設に複数の会員がいる場合、各施設に1通とすることとなった。

総会終了後は、新校舎の見学会も行われました。新しい臭いがプンと、どの教室も「おー！」と見学会参加者の歓声があがっていました。

平成15年3月20日、会計監査の結果相違なく、第1,2号議案とも承認された。

【第 号議案 平成15年度事業計画案】

1. 新入会員会費徴収（22期生2名入会、会員数380名）
2. Newsの発行：No.56～57

三浦孝雄教授退官記念祝賀会 開催される

平成 15 年 4 月 19 日、ホテルニューキャッスルにおいて三浦教授退官記念祝賀会が開催されました。北は北海道から南は長崎まで、大勢の同窓生が三浦教授の退官を惜しむ姿がみられました。退官された三浦教授より、同窓生の皆様に向けてお言葉をいただきました。

同窓会ニュー - スに一文をという依頼を受けて、短大赴任後、学園便り、整志（整形外科教室の毎年発行されている雑誌）などから学生にふれて書いたものをまず拾ってまとめてみようと思った。赴任 1 年後の学園便りには「教官のぼやき」と題して - 何故に、小中学生と同じように規則を守らせ勉強の仕方を教えてやらなければ何も出来ない学生が沢山いるのだろうか。後始末はできない。廊下にはタバコの投げ捨て、ゴミ箱のように汚い講義室で平然と講義を受ける無神経さ - 。7 年目の整志では、殆どの学生は表向きでは従順な子羊、しかし授業中には私語が教室上空を飛び交う。でも勉強は言われたことだけはやる。再試を当然とすることへの疑問。10 年目の整志では、受験勉強、偏差値および校則至上主義の教育効果と文部省と教育現場の対応の素晴らしさ？は自己決定、役割自覚するのには大学に来てからではもう手遅れと嘆き。最後の学園便りでは、保健学科になって大人数の講義のため、出席カード、プリントを配るのに時間がかかるので授業開始時間より早く講義室に行っているのに遅刻してきて出席カード、プリントをもらいにくる、あげくのはてには配布が終わったとたん、最初の講義にもかかわらず抜け出す学生（理学・作業療法専攻以外だが）の存在。などなど激烈なことを書いている。SVからは道德教育の希望があったこともどこかに書いている。

このような環境のもと自分事としては講義は休まない（健康を保ち、怪我をしない）、ことを第 1 とし、最初は医師として修羅場をくぐってきたことからの押しつけがあったことへ

の反省、そこから教育以外のさまざまなジャンルの書籍を読むこと（もともと本を読むことは嫌いではなかったが、その余裕がなかった、時には PT は教養がないとって教官を怒らせたこともあるくらい）を第 2 とした。講義のための勉強と、他職種を尊重しなさいという恩師東野修治先生の言葉の意味を理解できるほどにこだわりが少なくなり、許容範囲が広がり、後輩に短大に行ってからニコニコするようになったと言われるようになる。目的なしの入学と高校生が少なくなること、Where is man? という英国の文献などの対策として社会人選抜を行い、公開講座による一般市民とのつながりを求め、学生との英文抄読を試みたりして、なんとか教官生活を続けることができた。

そこまで達するまでは大変だったが、その時々に応じて歴代の同窓生の皆さんからのエールがあり、それに励まされ、途中で辞めることもなく 20 年間も職責を果たすことができた。皆さんから力をもらって今の私があり、あったと思っている。そして自分として成長でき、その意味では長嶋流に言うところの理学療法学科は永遠に不滅である。

私の教官のポリシー - としては、学生には嫌われるようにする、しかしえこひいきはする、いいことでも強制はしないということである。それにもかかわらず退官記念祝賀会には遠くからも沢山の出席と祝賀会のための後援をいただき感謝に堪えない。

これからも教官時代のことを忘れず、心だけは若くありたいというのが今の心境である。

最後に、いつも最初の講義で自己紹介の後に言ったことをこの機会に文章として残しておきたい。手抜きをしたところでその人の進歩は終わる。説明は省略するがモデファイしたパレートの 80 / 20 の法則を心の片隅に。そして物事の正解はただ一つではない。

蛇足として雑誌「治療」2003,5,Vol.85.No.5 南山堂に今まで皆さんに講義してたどりついたりハビリテーション概論のまとめを書きましたので、ご一読頂ければ幸いです。



三浦教授退官記念事業終了 弘前大学医学部保健学科 理学療法学専攻 主任 對馬 均

梅雨明けも間近かと思わせる暑さの季節となりましたが、皆さん、いかがお過ごしですか？津軽の地では、そろそろねぶたの準備が始まる頃となりました。

さて、三浦孝雄先生のご退官にあたり、本年2月の最終講義を皮切りとして、同窓会の応援を受けて企画・実施して参りました「三浦教授退官記念事業」も、去る4月19日に行われました記念祝賀会を持ちまして、計画いたしました事業を滞りなく達成することができました。これも、本事業にご賛同、ご協力をいただいた同窓会の方々のお陰と、感謝申し上げます。

退官記念祝賀会は、三浦先生ご夫妻を弘前市ホテルニューキャッスルにお招きし、多数の方々のご出席をいただき盛会裡に行われました。当日、三浦先生ご夫妻には、記念品としてパーソナルコンピュータ一式と、旅行券をお贈りいたしました。また、三浦先生がご就任された昭和58年以降の研究業績をまとめた業績集を発行し、祝賀会に参加された方々に

配布いたしました。

集まった同窓生の中には、久しぶりに訪れた弘前の街並みの変わりように驚いた人も多かったようですが、旧友とともに三浦先生を囲み、昔話に花を咲かせていました。現在、三浦先生は、弘前記念病院を拠点に、大学病院、ときわ会病院会において非常勤医師としてご活躍されております。

弘前大学医療支援短期大学部から改組された弘前大学医学部保健学科も、平成16年度からの独立行政法人化や、北東北三大学統合案など、厳しい課題に直面しておりますが、4月から新しいメンバーを迎え、スタッフ一同、これまで培って参りました教育研究の蓄積を基に、新しい時代の理学療法学確立に向けて、精進して参る所存でございます。同窓生の皆さんの応援をよろしくお願いたします。

最後に、5月に開催された弘前大学評議会において、三浦先生が弘前大学名誉教授の称号を授与されましたことをご報告し、記念事業終了の挨拶とさせていただきます。



編集後記

みなさんに早く同窓会ニュースをお届けしようと思っているうちに、時間があれよあれよと過ぎてしまい、春に行った三浦教授退官記念事業のニュースを冬間近にお届けすることになってしまいました。早々に原稿を頂いた、三浦先生、對馬先生には、過大なご迷惑をおかけしてしまいました。この場をお借りしてお詫び致します。

私にとっては初めての編集作業で、紙面に文字を配列しただけですが、あれやこれやと難しく、前任の河原さん、山田さんのご苦労が身にしみているところです。

実をいうと、同窓会ニュースの編集ほど「じみ～」な作業はないなあ・・・と思っていたら、なんとそう思っている私のところにお鉢が回ってきてしまいました。(> <)

次号からは、素早く面白くをモットーに発行しますので、お楽しみに・・・？(経堂)

今回ほんの少しかお手伝いさせて頂きました～。苦勞の末の力作ですので、三浦教授退官記念式典に誠に残念ながら出席できなかった方にも、この臨場感が伝わっていればよいな～と思います。(石田)